

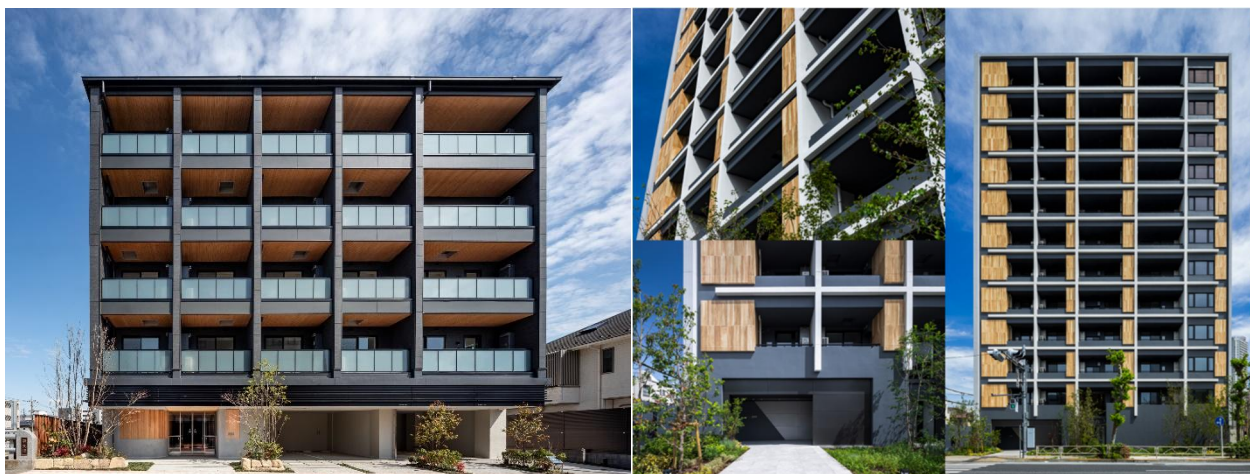
2026 年 10 月 15 日

各位

東京建物株式会社

2026 年度グッドデザイン賞 賃貸マンション「Brillia ist」シリーズで 2 件受賞 「Brillia ist 洗足池の杜」、「Brillia ist 墨田曳舟」

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 小澤 克人）は、2026 年度グッドデザイン賞（公益財団法人日本デザイン振興会主催）において、「Brillia ist 洗足池の杜」、「Brillia ist 墨田曳舟」の 2 件が受賞しましたので、お知らせします。



GOOD DESIGN AWARD 2026

2 件の受賞プロジェクトは、いずれも東京建物が手掛ける賃貸マンション「Brillia ist」（ブリリア イスト）シリーズで、「中～大規模集合住宅」のカテゴリにおいて受賞しました。Brillia ist は、分譲マンションの「Brillia」ブランドで培ったノウハウに、「どこまでも自分らしい生き方にこだわる人」という意味を持つ「ist」という個性を足し作られたブランド名です。都市の暮らしと調和する、実用的で色褪せない洗練さと行き届いた安心さを備え、スマートにゆとりを作り出せる快適な居心地を持つ住まいを提供します。

Brillia ist 公式サイト：<https://www.brilliaist.com/>

● Brillia ist 洗足池の杜

脱炭素社会および循環型社会への貢献を目的として、新築・改修・解体時に発生する温室効果ガス排出量が少ない木造の集合住宅に着目しました。周辺の街並みや木造化が進む東急池上線沿線との親和性の高い木造賃貸住宅を開発した。共用部や住戸仕上げ材へ木材を使用することで、温もりと安らぎを感じられる快適な住空間を実現しています。



街並みと調和を図るファサードデザイン



共用部及び住宅ユニットの内装に天然木材を採用

1. デザインのポイント

- ① 木造中層集合住宅により街並みと調和を図り、居住者や周辺の方々へやわらかいフォルムを提供
- ② 共用部及び住宅ユニットの内装に天然木材を採用し、五感で感じる居住空間の提案
- ③ 木造に関する技術的・法的視点による解決と環境配慮を踏まえた建物開発の視点

2. 評価コメント（原文）

都市建築の木造化は、地球環境への負荷低減を考えれば、今や大きな社会的使命だと言ってもいい。しかしこれまでは、構法への限定的なアクセシビリティやコストの問題などもあって、普及にはまだまだ程遠い状態であった。しかしこの計画は、適切な規模設定とオーソドックスな平面計画によって無理なく木造化が実現できている。加えて内装の木質化にも積極的に取り組み、心地良い住空間が実現できている。木造化、木質化がもたらす居住性は、住人に安らぎの時間を与えてくれるだろうし、他のプロジェクトにも展開可能な汎用性の高さは、社会的に大きな影響力を持つことになりそうである。その波及効果こそ、地球環境への負荷低減に最も有効な方法なのである。

3. プロジェクト概要

所在地：東京都大田区東雪谷一丁目 9 番 13 号

アクセス：東急池上線「洗足池」駅徒歩 5 分、「石川台」駅徒歩 4 分

敷地面積：1,117.94 m²

延床面積：2,073.74 m²

構造・規模：木造枠組壁工法、一部鉄筋コンクリート造・地上 5 階建て

総戸数：42 戸

事業主：東京建物株式会社

設計・監理：三井ホーム株式会社

施工：三井ホーム株式会社

竣工：2026 年 3 月

公式サイト：<https://brilliaist.com/i-senzokuikenomori/>

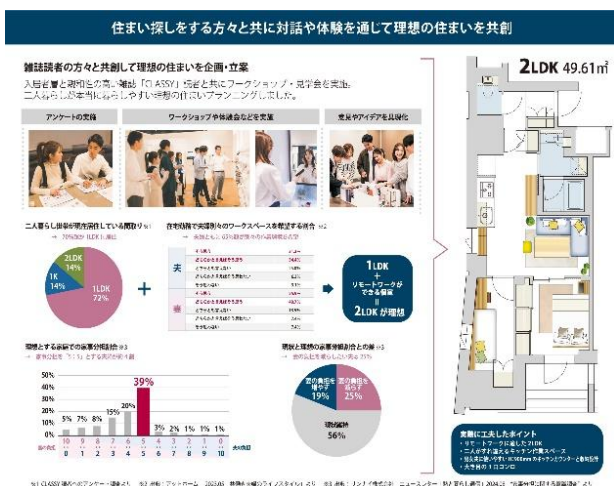
< 参考リリース >

東京建物初の木造賃貸マンション「Brillia ist 洗足池の杜」完成

<https://tatemono.com/news/20260302.html>

● Brillia ist 墨田曳舟

東武スカイツリーラインと京成押上線の2路線が利用可能で、都内へのアクセス性に優れた全43戸の賃貸集合住宅。都心への高いアクセス性と、下町の穏やかな生活環境を併せ持つ立地を背景に、共用ラウンジや東京スカイツリーを望む屋上テラスを設け、都市の利便と心地よい暮らしが両立しスムーズに切り替わる住まいをデザインしました。



住まい手との共創で生まれた理想の2人世帯住宅

多摩産木材を活用した共用空間

1. デザインのポイント

- ① 街並みに溶け込む端正なグリッドデザイン。木調塗装と本体の格子構造、ダブルスキンとしての格子による調和
- ② 住まい手と貸主が共創して出来上がった、2人世帯のための賃貸住宅。計画の過程でのニーズの把握と具現化。
- ③ 森林循環に取り組む東京チェーンソーズとの共創により実現した、木のぬくもりを感じる共用空間

2. 評価コメント（原文）

二人で暮らす世帯は都市部で増え続けているが、その受け皿となる住戸はほとんど供給されてこなかった。条例が定める住戸規模の枠と、建築費や地価の上昇による面積の圧縮が重なり、ワンルームと家族向けの間が空白のまま残されてきたためである。この空白へ事業者が自ら踏み込み、狭くなる床をどう組み立てるかという問いに答えを出した計画である。論点の置き方に見識がある。面積の多寡を競うのではなく、水回りの使い勝手へ焦点を移した。二人の生活は水回りの同時使用が避けられず、床を増やさずに満足度を動かせる余地が最も大きい。住まい手からの聞き取りを経て、手を入れる先を見極めた過程が的確である。外観は、逆梁とアウトフレームによって生じる外形の凹凸を、格子状のダブルスキンで一つの秩序へ引き取っている。無機質に流れやすい賃貸の立面が、下町の街並みへ穏やかに納まっている。多摩産材を共用部に据えた試みにも触れておきたい。素材の来歴ごと住まい手へ渡そうとする姿勢であり、共用部が単なる余白で終わらない道筋を示している。

3. プロジェクト概要

所在地：東京都墨田区東向島二丁目 21 番 3 号

アクセス：東武スカイツリーライン「曳舟」駅徒歩 4 分、京成押上線「京成曳舟」駅徒歩 7 分

敷地面積：448.46 m²

延床面積：2,518.25 m²

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上 12 階建

総戸数：43 戸

事業主：東京建物株式会社

設計・監理：株式会社 IAO 竹田設計

施工：石黒建設株式会社

竣工：2025 年 7 月

公式サイト：<https://brilliaist.com/i-sumidahikifune/>

以上